

主題：三一の神が三部分から成る人に命となる

メッセージ 10

命の道において命を経験する

聖書：創 2:7-9. 詩 36:7-9. ヨハネ 12:24-26. II コリント 4:10-12. ローマ 8:13. マタイ 7:13-14

- I. 命としてのキリストは、命の木の実であり、命の木は宇宙の中心です——創2:9. ヨハネ1:4. 10:10. 14:6. 15:1. 6:35, 63. I コリント15: 45後半：
- A. 命は神の創造の目標です——創 1:26-28, 31. 2:7-9。
 - B. 神の有機的な救い、すなわち、キリストの命の中で救われることは、神の法理的な贖いという手続きの目標です——ヨハネ 19:34. ローマ 5:10. コロサイ 3:3-4. 啓 22:1-2。
 - C. 命は、神ご自身がキリストの中でその霊として流れ出て、人によって享受され、人を喜ばせ、満足させることです——詩 36:7-9. 啓 22:1. エレミヤ 2:13。
 - D. 神はキリストの中におられ、キリストはその霊であり、その霊は命であり、わたしたちの霊は命です——ヨハネ 14:9-10, 17-19. 6:63. ローマ 8:2。
 - E. 命は、わたしたちが食べる命のパンとしての主ご自身です——ヨハネ 6:35, 57, 63. マタイ 15:22-27。
 - F. 命は光であり、光は暗やみに打ち勝ち、光は神の言葉の中にあります——ヨハネ 1:4-5. 詩 36:8-9. ヨハネ 6:63：
 - 1. もしわたしたちが命に触れようとするなら、言葉、すなわち、その霊によってわたしたちに与えられる内なる感覚を必要とします。そのような感覚は、神の生ける言葉です—— 63 節. サムエル上 3:19-21。
 - 2. もしその霊がわたしたちの中で、わたしたちに一つの言葉、一つの感覚を与えて、わたしたちの口を開かせ、主を賛美させるなら、わたしたちはこの言葉を受け入れて、わたしたちの口を開き、主を賛美すべきです。このようにして、わたしたちは内側で光を持ち、この光が命、その霊、キリスト、神です。
 - 3. わたしたちがこの感覚に応答して、賛美の祈りを主にささげるとき、わたしたちは命の満足、キリストの甘さ、神の臨在、その霊の動きを感じます。
 - G. 召会のすべての美しさ、力、輝き、能力は、命としてのキリストが召会の内側の内容であるという事実からやって来ます。召会は命の結果であり、命は召会の内容です——創 2:22. ヨハネ 19:34. 12:24. I コリント 10:17。
- II. わたしたちは、神の命が人の中で出遭う障害を見る必要があります：
- A. 神の命がわたしたちの中で出遭う第一の問題は、わたしたちが人の観念の暗さを認識していないということです：
 - 1. わたしたちは見る必要がありますが、クリスチャン生活において重要な唯一の事は、わたしたちの中の生けるキリストをわたしたちがどのように取り扱うかということです——ガラテヤ 1:16. 2:20. 4:19. ピリピ 1:19-21. エペソ 4:13. II コリント 3:18。
 - 2. クリスチャンになることの意味は、キリスト以外のどんなものもわたしたちの対

象にしないということです。多くの人が救われた後に、霊的な命の上で問題を持つのは、彼らが命の道を認識しておらず、キリストを命としていないからです。

B. 命がわたしたちの中で出遭う第二の問題は、偽善です——マタイ 6:2, 5. 7:5. 23:13-29 :

1. 人が霊的であるかどうかは、外側の現れにあるのではなく、彼がどのように内住のキリストを取り扱うかにあります。
2. わたしたちの天然の良さは偽りの霊性であり、それは実は命にとって大きな障害です。命の表現は、わたしたちの天然の性情と好みを拒絶して、単純になってキリストにわたしたちの中で活動していただき、わたしたちを砕いていただくことと関係があります。
3. もしわたしたちが、いつも自分の性情と天然の存在にしたがって物事を行なうのであれば、その結果はいつも偽善です。

C. 命がわたしたちの中で出遭う第三の問題は、反逆です :

1. キリストはわたしたちの中で活動し、わたしたちに感覚を与えます。そして、わたしたちに対する彼のみこころが何であるか、わたしたちに対する要求が何であるか、わたしたちに対する彼の導きが何であるか、わたしたちに対する対処が何であるかを、わたしたちにはっきりとさせます。
2. しかしながら、もしわたしたちが内側の感覚に服従せず、逆らい、彼の導きを受け入れず、代価を払わないなら、このように反抗することや反対することは、反逆です。
3. わたしたちが最もしばしば、また最もひどく犯す罪は、外側の見えるものではありません。そうではなく、わたしたちの中のキリストの感覚に服従しないという罪です。キリストはわたしたちの中に生きており、絶えずわたしたちに命の内側の感覚を与えています——ローマ 8:6. I ヨハネ 2:27. 参照、エペソ 3:1. 4:1. 6:20. II コリント 2:12-14。

D. 命がわたしたちの中で出遭う第四の問題は、わたしたちの天然の能力です :

1. 多くの兄弟姉妹は真に主を愛しており、主のために熱心であり、とても敬虔です。それにもかかわらず、彼らの最大の問題は、彼らの能力と才能が高くて大きいことです。結果として、キリストは彼らの中で地位を持たず、道を持ちません。
2. わたしたちは能力があり、素質があるかもしれませんが、しかし、わたしたちはこれらのものを罪や汚れと考えていません。わたしたちは自分の天然の能力を軽蔑するのではなく、反対にそれらを尊んでいます。もしそれらがわたしたちの中でずっと砕かれぬままであるなら、それらはキリストの命にとって問題となります。

E. わたしたちの中のこれらすべての障害に対して、一つの解決があります。すなわち、わたしたちは十字架を経過し、十字架にわたしたちを砕いていただかなければなりません。キリストの命がわたしたちの中で妨げられないことを願うなら、わたしたちは十字架の砕きを経験して、これらの障害が対処され、取り除かれるようにしなければなりません——マタイ 16:24-25。

III. わたしたちは、神の命がわたしたちの中で出遭う主観的な障害を見る必要があります :

A. 正常なクリスチャンとは、彼の思い、意志、感情が、彼の霊と協力している人です。

不正常的なクリスチャンとは、彼の思い、意志、感情が、彼の霊と協力することができず、さらには相反しさえする人です。こういうわけで、彼はおおいの下で生活しています。

B. 第一の主観的な問題は、わたしたちの思いの問題です：

1. もしわたしたちの行ないたい事がわたしたちの考えから出ているのなら、たとえそれらが成功したとしても、それらは宗教的な活動にすぎません。それらは、わたしたちの霊から生かし出されたキリストの証しではありません——参照、ピリピ 2:5. I コリント 2:16. エペソ 4:23. ローマ 12:2.
2. わたしたちは内側にキリストの命を持っていますが、わたしたちの考えや行動においてキリストの命と協力していないので、この命はわたしたちから生かし出されることができません。
3. わたしたちの思いが霊に付けられるとき、わたしたちの外側の行動はわたしたちの内なる人と一致し、わたしたちと神との間に食い違いはありません。彼とわたしたちには平和があり、敵意はありません。その結果は、わたしたちが内側で平安の感覚を持つということです—— 8:6.

C. 第二の主観的な問題は、わたしたちの意志の問題です：

1. 多くの時、わたしたちの思いは霊の中の意図を理解しており、わたしたちは神のみこころを知っていますが、わたしたちは服従しようとせず、従おうとしません。
2. わたしたちは、主がわたしたちにある事を行なってほしいことを理解し、知っており、把握しており、深く感じているかもしれませんが、わたしたちの意志は服従することを拒み、降伏することを拒み、そしてわたしたちは主の臨在を失います。
3. 主のみこころを遂行する上では、強い意志も弱い意志も、神の命にとって妨げです。対処された意志は、強くて柔軟です。それは主によって征服され、復活させられることによってです。神と協力することのできる意志を持つことは、重要なことです——ピリピ 2:13.

D. 第三の主観的な問題は、わたしたちの感情の問題です：

1. わたしたちの感情は、神の感情を持つ必要があります。わたしたちは、神の感情の中へと完全に入り込む必要があります——II テサロニケ 3:5. ピリピ 1:8.
2. わたしたちは、神が愛するすべてのものを愛し、神が好むすべてのものを好み、神が憎むすべてのものを憎むべきです。わたしたちの感情と神の感情は、一つの感情になるべきです——エペソ 5:25. II コリント 12:15. I コリント 16:24. 啓 2:6.

E. このことからわたしたちは見ることができますが、わたしたちという人は、神の命を生かし出すことで真に障害となります。こういうわけで、わたしたちは碎かれる必要があります、また日ごとに内なる人の中へと増強される必要があります。それは、キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造ることができるようになるためです。心の主要な部分は、思い、意志、感情です——エペソ 3:16-17.

IV. わたしたちは、命の道を見る必要があります——マタイ 7:13-14：

A. 神の救いにおける神の働きの一部は、わたしたちの中で神の命のために一つの開かれた道を整えることです。この働きは、十字架の死を通して達成されます——ピリ

ピ 3:10。

- B. 一粒の麦の中には命があります。しかし、一粒の麦が地に落ちて死ななければ、内側の命は解き放たれません——ヨハネ 12:24-26。
- C. 命の道は、死の道です。キリストの死がわたしたちの中で働くとき、キリストの命がわたしたちから出て来る道があります——II コリント 4:10. ピリピ 3:10. ガラテヤ 2:20。
- D. わたしたちは、その霊を通してキリストの十字架を経験します——ガラテヤ 5:16, 24. ローマ 8:13-14. 出 30:23-25. ピリピ 1:19。
- E. わたしたちの中での聖霊の働きが強くなればなるほど、わたしたちの十字架の経験も強くなります。聖霊が働くところはどこであれ、その霊による致死力があります。そして、復活の命がわたしたちの中で、またわたしたちを通して現されます——II コリント 4:11-12。
- F. 聖霊の管理もまた、わたしたちの中で十字架の働きを遂行します：

- 1. わたしたちの霊的な理解の上で、聖霊を知るだけでは十分ではありません。わたしたちはまた、わたしたちの環境の「すべて」を知る必要もあります（ローマ 8:28）。霊的であり、神の御前に生きるクリスチャンは、毎日、三つのものを「読む」必要があります。第一に、聖書を読む必要があります。第二に、霊の内側の感覚を読む必要があります。第三に、環境と状況を読む必要があります。その環境と状況は、自分の周囲の人、事、物です。神はわたしたちの環境と状況を案配して、すべての人、すべての事、すべての物を共に働かせて益とならせます。それは、わたしたちを造り変え、神の長子のかたちへと同形化するためです—— 28-29 節。
- 2. 主がわたしたちのために造った環境は、わたしたちに主の恵みを知らせ、主の力を経験させます——II コリント 12:9。

V. わたしたちは、神の命がどのようにしてわたしたちから生かし出されることができるかについてのビジョンを見る必要があります：

- A. わたしたちは、神の命がわたしたちの中にあることを認識し、知る必要があります——コロサイ 3:4. ローマ 8:10。
- B. わたしたちは、神にわたしたちの目を開いていただき、わたしたちの天然の人、すなわち、わたしたちのパーソンそのものが、神の命にとって妨げであることを見る必要があります。
- C. わたしたちは、自分が十字架の上に釘付けられたことを見る必要があります。また、わたしたちは自己を憎まなければなりません。わたしたちは神を見て、神を知り、神を愛すれば愛するほど、さらに自己を忌み嫌い、自己を否みます——コロサイ 3:3. ガラテヤ 2:20. ローマ 6:6. ヨブ 42:5-6. マタイ 16:24. ルカ 9:23. 14:26。

VI. 「わたしの内側にはとても重い負担、とても深い感覚があります。すなわち、今日のあらゆる召会が最も必要とするものは、命の事柄であるということです。わたしたちのすべての働きと活動は、命から出てこなければなりません。……それが命から出て来るものでなければ、わたしたちの働きと奉仕は長続きせず、重みもないでしょう。わたしたちの働きが豊かで長続きする結果を持つことを願うなら、わたしたちは命に土台を持たなければなりません。わたしたち自身が、命の中で主に触れなければなり

ません。……このようにしてはじめてわたしたちは、神がこの時代に行ないたい働きに適合することができます。……わたしたちはただ一つの願いを持つべきです。それは、主の命をさらに知り、経験することと、わたしたちが知り経験したものを他の人たちに分かち与えることができるようになって、彼らにも何かを得させることです。……わたしたちの働きは、ただ主の命を解き放つことと、主の命を他の人たちに分け与え、供給することだけであるべきです。どうか主がわたしたちをあわれんで、わたしたちの目を開いてくださり、この時代における神の中心的な働きとは、人が彼の命を得て、彼の命において成長し、円熟することであることを、見せてくださいますように。彼の命から出て来る働きだけが、彼の永遠の標準に達することができます」——命の認識、第6章。

© 2013 *Living Stream Ministry*